

2025年8月24日
8月第四主日礼拝式



「注がれた愛」

愛する友のために いのちを捨てる
これほど大きな愛があるだろうか
逃(のが)れる道もなく なにかを求めて
わたしがまだ罪の中にいたとき

キリストがわたしのために
いのちを投げだして
その愛を 永遠の愛を
心に注がれた～～～♪

149 平和、川のように

1. 平和、川のように 平和、川のように
平和、川のように 心に
平和、川のように 平和、川のように
平和、川のように 心に
2. 平和、川のように 喜び 泉のように
愛、海のように 心に
平和、川のように 喜び 泉のように
愛、海のように 心に

新聖歌355番 「主と共に歩む」

- 1 主とともに歩む その楽しさよ
主の踏(ふ)みたまいし み跡(あと)をたどる
* ひと足 ひと足 主にすがりて
絶えず 絶えず われは進まん
- 2 赤子(あかご)に等(ひと)しき か弱きわれは
ただ主にすがりて いのちに歩まん * (くりかえし)
- 3 花咲く野原も 血に染(そ)む谷も
みちびかるるまま 主とともに行かん * (くりかえし)
- 4 エノクのごとくに われをも上に
うつさせたもうまで 日々 主と歩まん * (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌101番 「イエスよ十字架に」

- 1 イエスよ十字架に われを引きて
絶えずみもとに 保(たも)ちたまえ
* 君(きみ)のいさお ほむべきかな
十字架のほかは われ誇(ほこ)らじ
- 2 十字架によりて われ世(よ)に死し
十字架によりて 世(よ)われに死す 【*】
- 3 君(きみ)の御跡(みあと)を 踏(ふ)みてすすまん
十字架の悩み 日々 覚(おぼ)えつつ 【*】
- 4 憂(う)き悲しみも み名のために
しのぶわが身(み)は 楽しきかな 【*】 アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン